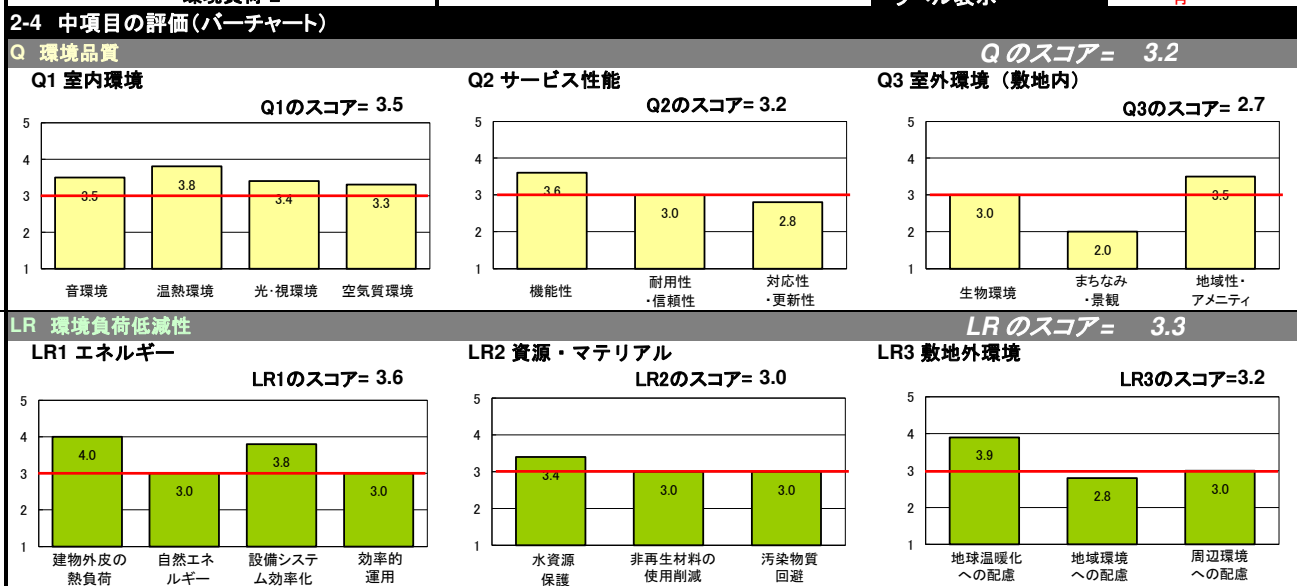
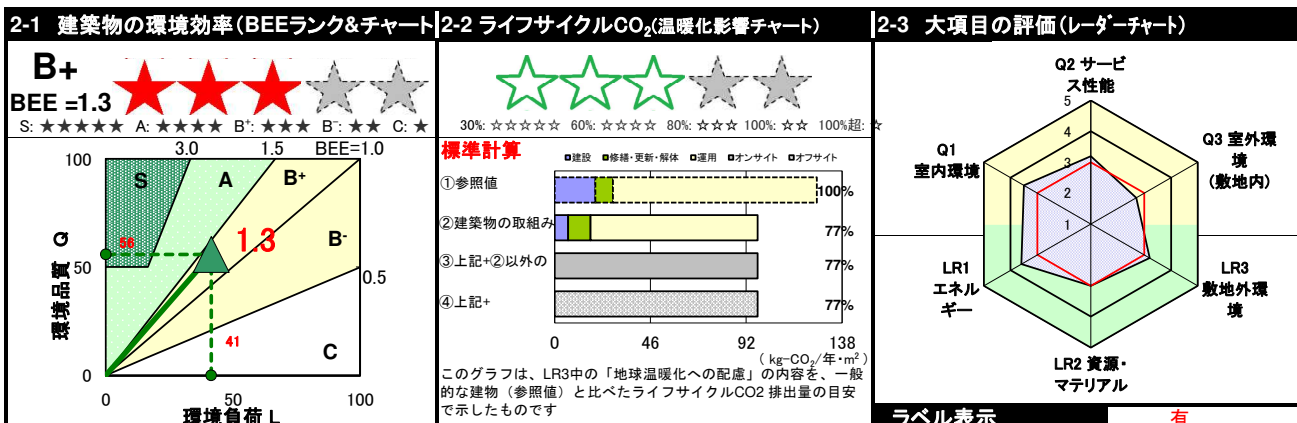




建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要	1-2 外観
建物名称	(仮称)グランアッシュ北加賀屋2丁目 新築工事
建設地	住之江区北加賀屋2丁目
建築用途	共同住宅
建築主	
設計者	
敷地面積	1,745.69 m ²
建築面積	408.25 m ²
延床面積	4,445.43 m ²
構造/階数	RC造 / 地上15階
完了年(予定)	2024年1月



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
建物利用者が快適に過ごせるよう居室における室内環境に配慮するとともに、節湯器具やLED照明器具を採用するなど省エネルギー・省資源など地球環境への影響も考慮した。敷地内には多くの樹木を設け、居住者・地域住民が自然と親しめる空間形成をしている。		敷地内に公開空地を設け、多くの樹木を計画することで、居住者だけでなく地域の住民が自然と親しめる空間を計画した。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）
居室においてT-2の建具を使用し、開口部遮音性能を高めるとともに、2.5%以上の十分な昼光率を確保し、居室内における建材については建築基準法を満たし、かつ建築基準法規制対象外となる建材をほぼ全面的に採用している。	各住戸にGbitクラスのインターネット設備を計画している。内装仕上材は維持管理に配慮し、防汚性の高い仕上材を採用し、維持管理方法が大きく異なる床材を接近させないなどの配慮を行なっている。	敷地内に多数の樹木を配置し、日陰の形成に努め、地表面温度や地表面近傍の気温等の上昇を抑制させる計画とした。また防犯カメラを設置し、防犯性にも配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
Low-eガラスにより建物外皮の熱負荷抑制を高め、高断熱浴槽を採用することでエネルギー使用量の削減に寄与している。またLED照明器具や一部にて人感センサーを設置し、電気エネルギー使用量を減らす設計とした。	水使用量の多い浴室、キッチン、手洗いについて節水コマや節湯水栓の設置、リサイクル材の採用などの省資源・資源の有効利用を図った。	LCCO2排出率を抑制している。また敷地に多くの緑地を計画するなど地表面被覆材に配慮し敷地外への熱的な影響を低減させる計画とした。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.3

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO ₂ 削減	4.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.9
配慮事項	LCCO ₂ 排出率を抑制している 省エネルギー器具を採用している

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 3.0
Q3 / 3 / 3.2 /	敷地内温熱環境の向上 4.0
LR3/ 2 / 2.2 /	温熱環境悪化の改善 3.0
配慮事項	植栽計画の実施 公開空地には多くの植栽をするなど敷地内温熱環境の向上に努めた

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	4.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 4.0
配慮事項	エネルギー消費量等級4 等級4を満たす性能を確保している

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 3.8
配慮事項	BEIm=0.92 LED照明器具などを採用している

省エネルギー基準計算結果

基準 適合状況	適合
------------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級） 等級4 (相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m] -	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m] 0.92	住宅部分[BEI] 0.92	非住宅部分[BEI][BEI _m] -